

令和5年第1回定例会総体質問通告事項

3 月 10 日	岡野長寿議員（日本共産党）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 教育費にかかる負担軽減こそ重要</p> <p>(1) 尾道市が先進的に進めてきた子ども医療費助成制度をもう一步前進させ、子ども医療費無料を実現させませんか</p> <p>(2) また、子どもたちの給食無償化をまずは、憲法26条の趣旨を汲み取り、義務教育の小中学校から始めませんか</p> <p>(3) 学校給食無償化と子ども医療費無料化の実施は、新年度予算には盛り込まれていないようですが、今後いつ実施をしようとしていますか</p>	
	<p>2 中学生に早く温かい給食を届けよう</p> <p>(1) 親子方式なら、今すぐにでもできる事例は研究していませんか</p> <p>(2) 向島中央小学校調理場から向島中学校へ配送ができませんか</p> <p>(3) その他学校に調理場がある小学校はどこですか。休止している調理場もあるはずです</p> <p>(4) 因島南中学校だけでなく、早くできる可能性を追求すべきではありませんか</p>	
	<p>3 「特養ホームの待機者はゼロに（保育所の待機者がゼロであるべきなのと同じ）、介護保険料は軽減せよ」について</p> <p>(1) 「老人ホーム待機者は減っていないのが現状、働きながらの介護はできないので増床を希望」との声に誠実に応える必要があるのではないですか</p> <p>(2) ここ数年見送ってきた特養老人ホームの増床に取り組むべきではありませんか</p> <p>(3) また、食料品の値上げや光熱費の値上げによって家計に大きな負担がかかっています。これに対する一時的な支援金も補正予算の審議の中では示されませんでした。15億円の半分程度を取り崩し、保険料の軽減という形で支援をするお考えはありませんか</p> <p>4 国民健康保険料の軽減について</p> <p>(1) 総体説明では「国民健康保険財政調整基金から約2億7,400万円を繰り入れる」とあります。これは国保料の引き下げにつながりますか。いくら引き下がりますか</p>	

<p>3 月 10 日</p>	<p>(2) 市民生活の窮状救済という観点からは、その倍額程度の引き下げをすべきだし、可能ではありませんか</p> <p>5 コミュニティー公共交通網の整備について</p> <p>(1) 船便、バス便などの減便、航路の縮小・廃止、運賃の値上げなどによって、買い物難民、生活難民が増えています。市域内の移動の自由を保障するのは尾道市の責務ですが、公共交通の整備についての投資を出し渋っているように見えます。総体説明にも、公共交通の整備についての積極的な記述が見当たりません。何かあればお答えください</p> <p>(2) 市内の幹線道路、生活道路であるしまなみ海道の料金軽減の要望が出され続けて久しいのに、未だ予算措置をとろうとしないリーダーの責任は重大です。なぜ支援を出し渋るのかお答えください</p> <p>(3) かつて因島公営渡船が運航していた金山―赤崎航路は民間に移管され久しいが、補助金は以前のまま。運行維持が困難になり土日祝日は運行が休止となっています。せめて土日の1日だけでも運行ができるよう支援を増やすべきではありませんか</p> <p>(4) 地元スーパーが閉店となり、かなりの距離を高齢者が歩いて、所々で休憩をしながら買い物に行かざるを得ない状況が生まれています。バス路線が整っていないこのような地域に、乗り合いタクシーのような制度をつくっていくお考えはありませんか</p> <p>(5) 橋代だけでなく、船賃も値上げになっています。高校生の通学定期などもびっくりする負担です。増え続けている地域福祉基金やふるさと振興基金を活用して、負担軽減をはかり、交通事業者の運行維持にも貢献すべきではありませんか</p> <p>6 自然災害や事件、事故、イノシシなどから市民生活を守ることについて</p> <p>(1) 新年度のポンプ場増設計画、</p> <p>(2) 土砂浚渫化個所、</p> <p>(3) 排水設備の改良計画、</p> <p>(4) 生活道路の整備個所、</p> <p>(5) 右折レーン設置計画、</p> <p>(6) 消えた横断歩道・停止線の整備計画がどうなっているか</p> <p>(7) また凶悪事件対策として防犯のため監視カメラを設置する地域もあり、市の支援策を検討すべきではないか</p> <p>(8) また、イノシシ対策に専任の職員を配置するか伺います</p>
-----------------------------	--